



NEWS RELEASE

デジタル技術を活用した観光入込客数調査データを整備 2023年9月末のオープンデータ提供開始を目指し、検討委員会を設立

公益社団法人日本観光振興協会（本部：東京都港区 会長 山西 健一郎）は、デジタル技術を活用した観光入込客数を、誰もがインターネット等を通じて無償で利用（加工、編集、再配布等）できるオープンデータとして提供開始することを目指し、デジタル観光統計の整備と適切な運用に向けた検討委員会を設立しました。オープンデータとしての提供開始時期は2023年9月末を予定しています。

■背景

新型コロナウイルス感染症を機に、観光を取り巻く環境が劇的に変化、多様化するなかで観光の持続可能な社会の実現のためには、観光客の現状をタイムリーに把握し、速やかに施策実行評価に繋げるデジタル観光統計の整備と活用が求められています。

日本観光振興協会は、各種観光データのデジタルアーカイブ整備事業を通じて、観光資料を広く全国に公開、利用を促す仕組み作りを行うなど、持続的な地域観光経営のための支援を行ってきました。

そうしたなか、デジタル技術を活用した観光入込客数調査が各地域で進行している状況等を鑑み、日本観光振興協会は、より多くの地域がデジタル観光統計を手軽に利活用できるよう、調査データの整備を進めることといたしました。整備にあたっては、前提となる調査地点の選定を都道府県等の意見を踏まえた上でを行い、オープンデータとして提供開始することを目指します。また、公共性の高い観光統計データ整備・提供にあたり、以下の通り検討委員会を設置し、作成・活用ガイドラインの検討を行います。

■検討委員会の内容

目的 デジタル技術を活用した観光入込客数調査の作成・活用ガイドラインの検討

座長 清水 哲夫 東京都立大学都市環境学部観光科学科 教授

委員 古屋 秀樹 東洋大学国際観光学部国際観光学科 教授

中野 隆治 一般社団法人広島県観光連盟 カスタマーマーケティンググループグループリーダー

上田 和佳 公益社団法人静岡県観光協会 事業統括ディレクター

野田 優 福岡市 経済観光文化局観光マーケティング課 デジタルマーケティング係

オブザーバー 観光庁

■オープンデータ化を予定している観光入込客数調査の内容

調査項目 市区町村別国内観光入込客数

調査手法 事業者が事前に許諾を得て取得したスマートフォン位置情報データを活用し、予め設定した調査地点来訪者を市区町村単位でユニーク人数集計した月間合計値を、個人を特定できないように加工

調査期間 2019年1月以降（直近1ヶ月分を毎月更新）

対象地点更新頻度 年1回

提供開始時期 2023年9月末 ※β版

以上